

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

## 2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(5/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値に IIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
つくば国際戦略総合特区 (茨城県等)	正	B 3.8	B 4.3  進捗度 ・産学官連携の核となる組織の設立 100%  ・産学官連携による新規プロジェクトの創出数 83% 等	B 3.5  規制の特例等 ・農地法第5条農地転用に係る措置  財政支援等 ・国立大学法人運営交付金等  地域独自の取組 ・次世代がん治療(BNCT)共同研究拠点の整備等	-0.14	<p>・研究開発部門(※1)では着実に成果(※2)を上げ、それに係る連携も進んでいる。今後は成果の社会還元や地域還元を意識した取組を積極的に進められたい。</p> <p>・<u>ライフイノベーションとグリーンイノベーションに係る4つの先導的プロジェクト(※3)間の連携の構造がよく見えない。</u></p> <p>・<u>指標と特区の目標との関係を再整理し、散発的ではない、意味のある指標群を設定するよう心がけるべき(※4)。</u></p> <p>※1: 次世代がん治療(BNCT)の商用型治療装置の開発、生活支援ロボット(身体機能補助ロボット、搭乗型モビリティロボット等)の開発など</p> <p>※2: ・次世代がん治療(BNCT)に関連する競争的資金獲得件数及び特許出願件数(H24年度目標)10件、(実績)10件、進捗度100% ・生活支援ロボットの安全認証数(H24年度目標)1件、(実績)1件、進捗度100% ・TIA-nanoにおける産学官連携による累積事業規模(H24年度目標)750億円、(実績)762.5億円、進捗度102%</p> <p>※3: ①次世代がん治療(BNCT)の開発実用化、②生活支援ロボットの実用化、③藻類バイオマスエネルギーの実用化、④TIA-nano 世界的ナノテク拠点の形成</p> <p>※4: 評価指標数が12に上ること、「新規ロボット関連会社の創設及びロボット関連企業の立地」の代替指標として、「生活支援ロボットの安全認証数」を設定している理由が不明等。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。